

はじめに

お茶の水女子大学文教育学部人文科学科地理学コースでは、3年次の必修科目「地理学フィールドワークA」において野外調査の実習を課しています。この授業は、フィールドワークの基本を習得することを目的としており、毎年、特定の地域を選び、夏季に4泊5日の予定で実施しています。学生たちは、事前に文献講読や統計資料の分析などの作業を通じて各自で関心のあるテーマを設定し、現地では観察や体験学習、聞き取りなどの調査を行います。

2010年度の野外調査は、宮城県仙台市とその周辺市町を対象地域に、9月12日から16日までの日程で実施しました。参加者は、文教育学部人文科学科地理学コースの3年生5名に、ティーチング・アシスタント1名と研究員1名、引率教員1名を合わせた8名でした。初日は午後から皆で仙台市街を観察し、2日目から各自のテーマで調査を行いました。期間中は天候に恵まれませんでした。ほぼ当初の予定通りに調査を行うことが出来ました。

今回、学生たちが取り組んだ調査のテーマは、防災、祭事、地域開発、公衆衛生史、人口移動などと多岐にわたります。何れのテーマも、仙台市および宮城県に関する事前学習を通じて培った知識と問題関心にもとづいて学生自身が設定したものです。そして、現地調査から得られた情報を整理・分析し、考察を加えてまとめたものが本報告書です。何分、このような野外調査は初めて経験する学生が大半であり、本報告書には至らない点が多くみられると思います。ご笑覧いただき、ご意見・ご批評をいただければ幸いです。

今回の野外調査を行うにあたり多くの皆様からご協力を賜りました。心よりお礼申し上げます。本学の地理学コースでは、野外調査をはじめとする地理学の教育を通じて、地域の課題を分析し、その対策に取り組むことのできる人材を育成・輩出することにより、社会に貢献したいと考えております。今後とも本コースの教育にご協力をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

脱稿後、東北地方太平洋沖地震により、仙台市を含む東北・関東地方の太平洋側において甚大な被害が発生しました。末筆ですが、被災地の一日も早い復興を願うとともに、被災した皆様には心よりお見舞い申し上げます。

お茶の水女子大学文教育学部
准教授 宮澤 仁